



# 南舞岡小だより

学校教育目標「学ぼう つながろう 切り拓こう」

所在地 〒244-0814 横浜市戸塚区南舞岡4-15-1 (Tel.823-4120,4130)

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/minamimaioka/>

## 自分の役割を果たす子どもへ

校長 地主 佐和子

今週、1年生を迎える会をしました。1年生は自分の名前を言ったり、担任からの呼名に返事をしたり、楽しみなことや好きなことを発表したりしました。全員が終わるまでじっと見つめる2年生以上の眼差しに温かさを感じます。この時間の空気は、当然ながら国語の時間とは異質です。歓迎されている温かさ、準備をした誇らしさが表情から見て取れました。この迎える会もそうですが、例えば5、6年生の委員会活動も児童会活動の1つです。南舞岡小学校児童会の一員として、1人ひとりが役割を果たすことができる場を年間通して設定してまいります。

さて、4月の各教室には、新しい学年になって自己紹介カードが掲示されているクラスがたくさんあります。その中のめあてや、各委員会で立てためあて、学年や学級のめあてなどには「協力」に関することがよく出ています。子どもたちは、「協力」がどんな姿なのか深く考えたことはないかもしれませんが、よい姿であるとは感じているようです。中には、協力することの大切さを実感したり、協力したときの気持ちよさを味わったりした経験がある子がいるのかもしれませんが、だからこそ「協力」をめあてにしたいと考えるのではないのでしょうか。

「協力」は、集団生活をする上で互いに気持ちよく過ごす魔法であると思います。私が担任をしていた頃、当時のクラスで「漢字で書くと、『力』が4つも入っている」と言った子どもがいました。「協力」は、みんなで一度に力を合わせるのだと思っている子どもがいるのかもしれませんが、しかし、それだけではありません。給食当番、掃除当番、日直、係活動、委員会活動、運動会での係など、学校生活には集団の中で役割を分担し、個々がその役割を果たすことによって協力が成り立つ場面はたくさんあります。役割を果たすことで責任感が芽生え、自分が役に立っているという満足感が得られ、ときには助け、助けられることにより友達との絆も生まれます。協力に必要な人との関わりを大事にしたいという子どもたちの気持ちは、今年度の児童会目標「大きくつながろう ミナマイリング」にも込められています。昨年度末に今の6年生が中心となって話し合わせ、学校教育目標「学ぼう つながろう 切り拓こう」の中の、特に「つながろう」を意識して今年度を進めていこうと決まりました。つながるために役割を果たす子どもの姿は、既に今月だけでもたくさん見られました。

5月には大きな行事であるスポーツフェスティバルが行われます。例えば徒競走、最下位であっても最後まで走り切ることで自分の色に点を入れられます。立派な役割です。1人1役の自分の役割に一生懸命な子どもたちにきっと拍手を送りたいと思う瞬間がたくさん見られるのだらうと期待に胸膨らみます。各ご家庭にもあるその子の役割、それを果たす子どもの素晴らしさを見つけ、認める機会を大事にしていだけたらと思います。